



ココロコが作る稻城産梨のドライフルーツ
「ピース オブ プレシャス」

んじじゃないか、子育て中のお母さんたちの働く場とか居場所を作れるんじゃないかということで、「ココロコ株式会社」を2020年に立ち上げました。

中倉 私たちの「こめのこ」は、2021年にスタートしました。南多摩駅近くで上野さんご夫妻が営んでいるレストラン「オルトラーナ」がお休みの日に、キッチンの設備を借りて地元産の野菜やフルーツを使った蒸しパンなどを作っています。

メンバーは私を含めて4人いて、上野さんのお店で集まつたときに「稻城の農作物がもったいない」という話が出たんです。稻城には、頑張って野菜を作っている農家さんがいらっしゃるのに、店頭などで消費者の目に触れる機会は少なく、口もたくさん出るんだそうです。そこで、そういう農作物を使って、地域に貢献できるような商品を作れないか、何かこのチームで面白いことができないかと考えました。

ちょうどその頃、私が米粉マイスターの資格を取ったので、「米粉を使って日本の田畠を元気にしながら、子どもも大人も一緒に頑張って、笑って楽しめるものを作ろう」ということで米粉の蒸しパンにたどり着き、オルトラーナのキッチンをお借りして作って、店内で販売することから始めました。

子育て世代のニーズに合わせて

司会 オルトラーナが触媒であり、インキュベーション施設でもあったわけですね。

中倉 何か始めようというときに、最初からどこかにキッチンを借りるのはハードルが高い。子育て世代のお母さんは、子どもの成長につれてライフスタイルも変化していくから、どこまで続けられるか自信がない中で、いきなり大きな投資が必要なスタートは切れません。その時にオルトラーナが定休日や時間外にキッチンを使わせてくれて、最初の突破口を開いてくれたのは本当にありがたかったです。

司会 山本さんは、会社を地域のお母さんたちの働き場所や居場所にもしようということでしたが、どのようにし

てお母さんたちが集まってきたんですか。

山本 その人と共通の友人がいたりとか、保育園や幼稚園を通じた子育て世代の知人って結構いるものなので。それと、そういう方たちの口コミですね。

司会 子育て世代のお母さんたちも、働くタイミングとか条件が合えば、働きたい人は結構いるんですね。

山本 そういうニーズはあると思います。うちでも、午前10時から2時間半だけ働いてもらうなど、色々と試してみました。そもそもドライフルーツを作ろうと考えたのも、子育て中のお母さんの働く場をイメージしたとき、果実の加工に高度な技術力が要るわけではないし、加工から販売までの期間を長くとることもできるので、働く人に合わせて仕事ができるのではないかというところからでした。

司会 中倉さんからは、農家さんが作った農作物が市場に出てこなくてもったいないという話がありました。そもそも何故その農作物に目付けたのですか？

中倉 自分たちが暮らす稻城の魅力をもっと伝えたいね、と話したときに「自然」「風景」という言葉がメンバーみんなから出てきたんです。家の近くに梨農園や畑があって、駅から歩いて10分で里山に着いちゃうような環境など東京ではほとんどない。そんな稻城の魅力を伝えようとしたとき、農地ってすごく大事で、「もしも稻城から農地がどんどん無くなつたら、稻城の魅力って激減するよね」って話していました。

でも私たちは農家ではないので、農地を守るために私たちにできることは何だろうと考えたら、採れたお野菜を残さずしっかり食べて、できるだけ農家さんを応援するのが一番じゃないかと話したんです。

私たちはみんな子どもがいるんですが、子どもが育つ環境には豊かな縁があってほしいという思いがとても強くて、自然が多い稻城で子育てしたいという人は多いんです。この環境を子どもたちや孫の代まで残してあげたい、子どもたちの故郷であるこの環境を私たちが守っていきたいというのが、こめのこのスタートでした。

共感と応援のコミュニティ

司会 2人とも、材料の仕入れ先が農家さんで、お店での販売に加えて地域のイベントやマルシェで直接販売もされていて、農家さんやお客様との関係も事業を中心とした一つのコミュニティなのだと思います。ただ2人の場合、仕入れ先やお客様とは、普通の会社のようなビジネスライクな関係じゃなくて、「ファン」という感覚に近い、お客様とも農家さんとも互いに応援しあっているファン同士のような温かい関係のように感じます。

中倉 私は全てにおいて「win-win」という言葉が好きなんですが、どちらかが一方的に頭を下げてお願いするような関係はストレスになるから、お互いに「いいね」でつながれる心地良い関係が理想だと思っています。だから、農家さんにもビジネスライクな発注は絶対しないようにしていて、農家さんとつながっているメンバーから「今こう